

2020年度 事業報告書

一年を振り返って

第65代理事長 片山了介

「新陳代謝～日に新た、日に日に新たなり～」とスローガンを掲げて運動を展開させていただきました。新型コロナウイルスの感染が世界中に蔓延して生活や経済活動が一変する事態となった2020年。当初に思い描いたものはできませんでしたが、特別の事業計画を作成して方向転換し、会員みなさまに力添えをいただいて、コロナ禍でもたくさんのきっかけ、多くの一步を踏み出し、掲げたスローガンの通り「新陳代謝」を実践することができました。片山の代わりに頭を悩ませ、歯を食いしばって頑張ってくれた会員の皆様には感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございます。

もちろん団体としての歩みはここで終わることはありません。先輩諸兄が繋いでこられた志を、そして現在の環境下に適応する技能を、更には未来への可能性を、次世代へ受け渡していきます。戦後最大の経済危機と呼ばれるまでになり、人との接触ができず力を合わせることの難しかった2020年度の経験がこれからも活かせるように振り返ります。

所信ではいくつかの狙いをもって進めることとしていて、コロナショックにより特別事業計画を中心に進めましたが、所信で明示したことは各々一定の成果がありました。

人財開発の分散、そして組織と運営の新陳代謝。研修において、新会員の研修やオンラインでのセミナーや岡山ブロックの新会員研修会などがあり、活動歴の浅い会員には学びの機会があった他、コロナショックによって委員会活動が制限される中で手探りしながらの事業構築や運動実施は今までと違う刺激があったと思います。個人任せ、委員会任せの部分が強くなりましたが、自己研鑽する機会は提供でき、今年度も人財開発を進めることができました。組織と運営の進化について、新しい組織体制の構築から始まり、例会設営の委員会持ち回り、定款の変更、議案様式の更新、理事会席位置の変更、委員会報告書のデータ提出化、オンライン会議手法の導入、電子書面決議の実施など、細かい事項も含め多くのことに挑戦しました。変更することにより、プラス・マイナスは発生します。例えば、委員会報告では提出がなされず公式記録がほぼ0のところもあれば、委員会の運営状況や必要情報が逐次共有できた委員会もあります。これらの挑戦は手法改善であり、環境や使い手に合わせて段階的に進化適応していくこと、また目的と効果が共有できれば、更に新しい技術習得ができるでしょうし、変更自体が研修機会となり、会員企業や地域に派生することができます。「自ら変化に適応する組織」づくりの機会は提供することができました。

地域共創、そして青少年育成。いずれも外部に対して行動を起こしていく内容ですが、

地域共創面では綿花栽培、美食ガイド、元気玉事業（サプライズ花火）と、コロナショックで低迷した消費活動を戻すことや、市民を直接元気づける取り組みを行いました。たくさんの市民と共に創ることはできませんでしたが、青年会議所が地元を引っ張り、それにご賛同や応援、協力や参加してもらうことができました。青少年育成では高校生への講演、経済人向けセミナー、世界の学生と行う絵画交換事業など、コロナ禍でも明るい未来を想像できるように新しい目線の取り組みを行いました。子供たちを応援する街として、将来に不安を抱きやすい年代に未来への楽しみや、少しでも早く安心できる地域経済に戻すための環境整備を進められたと思います。

交流拡大、そして広報とブランド化の加速。コロナショックで人との交流がしにくくなった中でも、立ち止まることなく、拡大運動を進めました。地域に配慮した消毒液の無料提供、マスクを配布しながら候補者への声かけ、青年会議所の紹介資料作成や交流会企画などを各事業や取り組みと同時並行で行い、地域や候補者に興味を持ってもらえる関係性を広げていきました。併せて広報も地元ケーブルテレビや新聞、SNSを各事業などで推進しました。いわゆる広告事業も実施し、事業手法として個人のSNSを活用した広報なども実践し、更には公式のインスタグラムやユーチューブなども開設しました。一歩ずつではありますが団体としても、会員個人でも発信力を高めることができました。

その他に、倉敷市の振興として、3 J Cが連携してのマスクなどに使われる不織布の提供や真備のまちづくりボランティアを行い、地域団体が連携協力することで生まれる力を地域に発揮することができました。出向においては、岡山ブロックや中国地区出向者には残念なことに活動量が少なかったと思いますが、日本本会や J C I への出向者はそれなりの経験成果は得られたようです。ライフバランスは個人の技量や判断が多分に影響し、問題も一部発生しましたが、次に活かしてほしいことを祈るばかりです。

このように、定量的な評価はしていませんが、所信で考えたことはコロナショックという環境変化にも立ち止まることなく適応し、当初の事業内容とは異なる形になりましたが進めることができたと感じています。そして、誰一人かけることなく一年を終えることができたことに安堵しています。更には、中国地区コンファレンスの主管決定や3 J Cでの主管副主管調印式の実施など、次年度へのギフトもつくれました。理事長立候補時に考えた、在籍会員のために充実した機会を提供すること、未来の会員のために環境を整えることを少しでも進めることができたと考えます。

一緒に走っていただいた現役会員、事務局員、応援と激励をいただいた特別会員、そして青年会議所の運動にかかわった地域の皆様に、感謝とお礼をもって振り返り報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

地域共創委員会事業報告

委員長 寺崎 悠一

2020年度、片山理事長より地域共創委員会として「まちづくり」の職務を戴きました。年当初から構築していた議案も多々あり、コロナには多くの機会を奪われました。私一人ではなく、委員会メンバーと共に多くの時間を費やしました。ですが、何よりも人の命が最優先です。片山理事長が急遽打ち出した、新型コロナウイルス対策特別事業計画のおかげでみんなが息を取り戻しました。これまで中止になった事業はありましたが、これを機に委員会メンバーが知恵を絞り様々な事業を開催させていただきました。夏フェス児島どんかっかでは、実行委員会設立まで多くの外部の方々の協力のもと組織化されましたが、コロナの影響で開催はできませんでした。ですが、児島を愛する方々の気持ちを受け取ることができました。3JC合同例会、坂出合同例会と中止にはなりましたが、他LOMとの打ち合わせなどで交流も深まり、今後の為にもなりました。コロナの影響で沈んでいるこの児島に、元気や活気、笑顔を取り戻すため、コロナにや負けんど！と題し、綿花、美食ガイド、元気玉と新型コロナウイルス特別会計を使わせていただき、3つの事業を開催する事ができました。どの事業も簡単ではなく、新型コロナウイルス感染拡大防止にも最大限気を使いました。綿花では児島支所、児島商工会議所、鷺羽高校とたくさんの方々にも協力いただき、喜ぶ笑顔も見れました。美食ガイドではメンバーの方にも協力依頼し児島内54店舗のお店に掲載させていただきました。そこではJCを知らない方もおられました。私たちJCが何かしらの協力ができないかとさせていただきました。元気玉では多くの問題がありましたが、坪本副委員長の熱い思いのもと、開催する事ができ、多くの方に見ていただき、笑顔を溢れる事業でした。12月例会・総会・卒業式ではしっかり準備をし、滞りなく開催する事ができ、卒業生を無事に送り出すこともできました。また、広報では藤原室長にすごくお世話になり、全ての事業で欠かせない存在でした。本当にありがとうございました。最後に、こんな状況の中ではありましたが、一年間支えてくださった高田副理事長、坪本副委員長、奥野さん、那須君、上月君、本当にありがとうございました。良い委員長させていただきました。

<担当事業及び活動>

- 1月23日 夏フェス児島どんかっか実行委員会設立（中止4/7決定）
- 3月11日 中国地区岡山BC協議会会長公式訪問合同例会（中止3/5決定）
- 6月 2日 坂出合同例会（中止3/1決定）
- 6月～11月 コロナにや負けんど！児島を綿花で彩ろう！
- 7月17日 コロナにや負けんど！KOJIMA美食ガイド
- 7月24日 全国一斉花火プロジェクト（JCI日本主体事業）
- 8月 1日 第23回夏フェスKOJIMAどんかっか（中止4/7決定）
- 10月17日 コロナにや負けんど！児島の夜空に元気玉
- 12月 2日 12月例会・総会・卒業式

青少年育成委員会事業報告

委員長 渡辺 一史

青少年育成委員会の委員長として、コロナ禍において事業が展開したのは、委員会メンバー、LOMメンバーの皆さんに支えられたこと、そして事業に賛同してくれた児島の中学校の皆さん、海外NOMの皆さんの理解があったからだと思います。1月に行われた例会総会では、100%出席を達成し、2020年一般社団法人児島青年会議所の活動を最高の形でスタートすることができました。また、年初予定していた事業として、委員会メンバーと委員会タイム準備、そして青少年と地域の方を対象とした対外事業としてMAP作りの議案づくりを行いました。企画段階で中止となり、新型コロナウイルス感染対策特別事業計画に基づいた事業を実施しました。まずは、株式会社船井総合研究所より砂川大茂氏をお招きしての研修会「ウィズコロナ時代」の実施。近年類を見ない混乱となったコロナショック。その時代の中で、中小企業の経営者として、何を考え、今後どのような時代となって行くのか、講師の砂川様にご講演いただきいただき、今後どのように会社を運営していくべきかを、そして、地域の実例として渋谷委員に渋谷商店の実例を発表してもらい、コロナ時代について学ぶことができました。また、青少年を対象とした事業として、絵画を通じた文化交流～コロナにゃ負けんど！君の絵は国境を越える！を行いました。コロナの猛威は、日本だけでなく世界を襲い、国内外の学校の様々活動がキャンセルや延期になりました。そんな中、青少年に対し、文化や人種の違う同世代との交流を通じ、新しい興味や価値観を持つきっかけにし、青少年が生き生きと出来る児島への第一歩として事業を実施することができました。本事業では児島地区の中学校5校49名、そして姉妹JCであるハワイ・ホノルル日系人青年商工会議（HJJC）、台湾 岡山国際青年商會、JCI インドネシア、JCI シンガポールの協力により35名の学生に参加いただくことができました。事業前の事業説明時には、あまり乗り気でなかった先生や生徒の皆さんも、海外から届いた絵画やビデオを見た事業後には本当に良い経験になったとの声を多数いただきました。また、クリスマス家族会は集合開催ではなく、事前にプレゼントのアンケートを行い、事業報告ビデオをデジタル配信し、初の各家庭での開催を行となりました。本年は、当初の計画が白紙になり、今までの普通が普通でなくなる激動の一年でした。その中で、多くのメンバーに支えられ、乗り越えることを本当にうれしく思っております。この経験と御恩を大事にし、今後の活動にしっかりと生かしていきたいと思っております。一年間本当にありがとうございました。

<担当事業及び活動>

1月13日 例会・通常総会

5月 1日 5月例会（初オンライン例会）

8月～12月 絵画を通じた文化交流～コロナにゃ負けんど！君の絵は国境を越える！

10月 1日 研修会「ウィズコロナ時代」

12月～ クリスマス家族会

交流拡大委員会事業報告

委員長 藤井 雅矩

会員拡大が急務な中、入会候補者との交流の輪を広げ、会員の拡大を行うべく、片山理事長から交流拡大委員会委員長の職をいただき、2020年度活動して参りました。

まずは、1月の新年互礼会にて特別会員の皆様から拡大の成功事例や新候補者の情報提供をいただきました。会員拡大を全うするにはLOMメンバーの力だけではなく、特別会員の皆様や地域の方々との繋がりが特に必要であると感じた1年でした。そして、LOMメンバーの拡大スキルの向上が目的であった4月例会委員会タイムは、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、直前での開催中止となりました。協議を重ね、リハーサルや資料の作成にご協力いただきました委員会メンバーには特に申し訳なく思います。今後の事業の中止や予測不可能な状況の中、片山理事長の特別事業計画の基、6月1日から7日間に渡り、児島地区各所にて480名へ向けて、次亜塩素酸水を配布させていただきました。各協力店やメディアのご協力もあり期間内で全て配布することができ、児島JCのPRと地域の方々へ安心の提供をすることができました。また、次年度理事長選任など大事な案件のある8月例会・臨時総会を設営させていただきました。本年度はホテルでの開催が困難ともあり、瀬戸商工ビル9階での開催となりましたが、少しでも華やか空間を演出するため、装飾や席の配置などを工夫し、高田次年度理事長を祝福することができたと思います。また、本年度は会員拡大のための交流会を3月・8月・10月・11月に開催しました。訪問することが困難な中、電話やSNSでの案内も行いながら、少人数での開催となりましたが、私自身も拡大のモチベーションアップにもなり、JCの魅力伝える楽しさと拡大の難しさを実感することができました。会員拡大に終わりはありません。児島JCの存続もかけて、今年の実験を活かし今後もJCの魅力を発信し続けていきます。

結びに片山理事長を始めLOMメンバーの皆様、藤森副委員長を始め委員会メンバーの皆様、担当の高橋専務理事、事務局の藤田さん、大変お世話になりました。皆様に支えられ、記憶に残る1年となりました。心より感謝申し上げます。 Big up!

<担当事業及び活動>

- 1月13日 新年互礼会
- 3月6日 拡大交流会
- 4月1日 4月例会委員会タイム会員拡大戦略会議～伝え授ける、意義と魅力～(中止)
- 6月1日～7日 KOJIMA VS COVID-19 次亜塩素酸水無料配布
- 8月4日 8月例会・臨時総会
- 8月28日 拡大交流会
- 10月17日 拡大交流会
- 11月20日 拡大交流会

新型コロナウイルス感染対策特別事業報告

理事長 片山 了介

本事業は、新型コロナウイルスの蔓延により、方針転換をするものとして特別に策定して全会員で進めました。直接のコロナ対策ではなく、会員及び市民の生活や地域経済の支援を中心に据え、その狙いは受け身になることなく、青年会議所として攻めの選択とその機会を会員に提供することでした。そして、会員の意欲が減衰することを防ぐことでした。

会員によっては青年会議所を続けることができなくなる可能性もありましたので、その部分への情報収集とケアを行いながら、内部の運営環境と予算を使える体制を早急に整えました。そして、機会提供を行いやすくする効果も考えて、最初の事業は自ら行いました。理事長職は最高責任者であるとともに、何事も初めの一步を踏み出し切り拓く役目があります。この緊急事態において、スローガンに掲げた「新陳代謝」を率先して実践したことで、会員から追随して構築される事業や運動の実現を進められたのではないかと感じています。実際に数多くの事業と運動を行うことができましたが、これは紛れもなく会員の皆様が頑張っていたおかげです。本当にありがとうございます。

一方で、会議体の運営、その品質、事業の展開や動員方法なども、今年度においては少なからず幅を持つ形に変更せざるを得ませんでした。活動歴の短い会員が多くなる中で、今まで繋ぎ、積み上げてきた良い風習も多分に含まれていることから、ニューノーマルとなる次年度以降は、広がった軌道を修正しながら進んでほしいと考えます。

この伝染病は、人や地域のつながりを分断する特徴があり、感染有無やその発生度合いで線を引いてしまい、人としての尊厳を奪う心の災害も引き起こしています。その救済には、考えと行動を変える「運動」が特效薬の一つになり得ます。青年会議所としてその取り組みを少しでも実践することができました。感謝。

<担当事業及び活動>

4月 コロナに負けるな！マスクで支援

<委員会担当事業及び活動（再掲載）>

6月～11月 コロナにや負けんど！児島を綿花で彩ろう！

6月 KOJIMA VS COVID-19 次亜塩素酸水無料配布

7月 コロナにや負けんど！KOJIMA 美食ガイド～みんなで行こう児島のお店！～

9月～12月 絵画を通じた文化交流～コロナにや負けんど！君の絵は国境を超える！～

10月 研修会「ウィズコロナ時代」

10月 コロナにや負けんど！児島の夜空に元気玉！

<その他>

4月～5月 幼保機関などへ不織布（マスクキッド）を配布（倉敷3JC合同事業）

7月 熊本県球磨川氾濫の被災支援（JCI 日本連携運動）

7月 全国一斉花火プロジェクトに協力実施（JCI 日本主体事業）

2020年度（一社）児島青年会議所 事業報告書一覧

開催日	事業名・開催場所	事業内容・参加人数等
1月5日	初詣 於：由加神社	事業の成功と発展を祈願
8日	1月スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議
9日	岡山JC新年賀詞交換会 於：岡山プラザホテル	4名出席
10日	倉敷JC新年互礼会 於：倉敷アイビースクエア	2名出席
13日	1月臨時理事会 於：鷺羽山下電ホテル	14名出席
	新年互礼会・定時総会 OB会総会・互礼懇親会 於：鷺羽山下電ホテル	事業報告・決算承認 事業計画案・予算案承認 OB59名・現役22名出席
16日 ～19日	京都会議 於：京都国際会議場	日本JC会頭所信演説
17日	第1回地区会員会議所会議 於：京都国際会館	2名出席
20日	1月理事会 於：瀬戸商工ビル5F	14名出席
25日	第1回ブロック会員会議所会議 於：船穂公民館	4名出席
30日	坂出JC通常総会 於：坂出グランドホテル	2名出席
2月1日	下津井城址クリーン大作戦 於：下津井城址	7名参加
3日	2月例会・臨時総会 於：瀬戸商工ビル9F	21名出席
6日	3JC正副理事長会議 於：倉敷シーサイドホテル	9名出席
10日	2月スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議

14日	チャレンジワーク14推進事業 於：味野中学校	3名出席
18日	2月理事会 於：瀬戸商工ビル5F	13名出席
21日 ～23日	JCI金沢会議 於：金沢	3名出席
25日	第2回ブロック会員会議所会議 於：鷺羽山下電ホテル	5名出席
27日	2020年度前期新会員研修会 於：瀬戸商工ビル9F	18名出席
29日	第1回児島じゃがいも大会 於：玉野ゴルフ倶楽部	OB8名・現役5名参加
3月9日	3月スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議
11日	3月例会 (電子例会)	
18日	3月理事会 於：瀬戸商工ビル5F	14名出席
26日	第3回ブロック会員会議所会議 (WEB会議)	3名出席
4月1日	4月例会 (電子例会)	
8日	4月スタッフ会議 (WEB会議)	理事会上程議案協議
14日	4月理事会 (WEB会議)	13名出席
15日	4月臨時総会 (電子総会)	
22日	第4回ブロック会員会議所会議 (WEB会議)	3名出席
5月1日	5月例会 (WEB例会)	22名出席
8日	5月スタッフ会議 (WEB会議)	理事会上程議案協議
18日	5月理事会 (WEB会議)	12名出席

20日	第5回ブロック会員会議所会議 (WEB会議)	3名出席
27日	5月臨時理事会 (WEB会議)	14名出席
6月1日 ～5日	KOJIMA VS COVID-19 次亜塩素酸水無料配布 於：児島地区内6ヶ所	児島市民480世帯分(2400)
2日	6月例会 (WEB例会)	22名出席
5日	第2回地区会員会議所会議 (WEB会議)	2名出席
	中国地区コンファレンス2020in山口 (WEB配信)	
8日	6月スタッフ会議 (WEB会議)	理事会上程議案協議
16日	児島未来学における出前講座 於：倉敷鷺羽高校	1名出席
18日	6月理事会 (WEB会議)	14名出席
21日	第6回ブロック会員会議所会議 於：岡山プラザホテル	2名出席
	第56回岡山ブロック大会 (WEB配信)	
7月2日	7月例会 (WEB例会)	23名出席
8日	7月スタッフ会議 (WEB会議)	理事会上程議案協議
14日	アチーブメントセミナー (オンライン)	一般参加者3名・児島JC11名 新見JC3名・坂出JC3名参加
16日	7月理事会 (WEB会議)	14名出席
21日	第69回ブロック会員懇親野球大会第1回監督・キャプテン会議 (WEB会議)	1名出席
27日	JC基礎講座 於：瀬戸商ビル5F	6名出席
8月1日	第69回ブロック会員懇親野球大会(予選) 於：中山運動公園軟式野球場	

4日	8月例会・臨時総会 於：瀬戸商工ビル9F	23名出席
7日	8月スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議
18日	8月理事会 於：瀬戸商工ビル5F	13名出席
28日	異業種交流会 於：さかなや道場	一般参加者3名 メンバー5名参加
9月2日	9月例会 於：瀬戸商ビル9F	22名出席
6日	第69回ブロック会員懇親野球大会 於：水島中央公園野球場	
8日	9月スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議
13日	ブロック新会員研修会 (WEB配信)	11名出席
17日	3J Cじゃがいも大会 於：倉敷カントリー倶楽部	OB4名・現役6名参加
18日	9月理事会 於：瀬戸商ビル5F	14名出席
26日	第69回全国大会北海道札幌大会 (WEB配信)	7名出席
29日	第7回ブロック会員会議所会議 於：岡山プラザホテル	3名出席
10月1日	研修会「ウイズコロナ時代」 於：児島マリンプール会議室	一般参加者・OB19名参加 メンバー23名参加
2日	10月例会 於：瀬戸商ビル9F	23名出席
8日	10月スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議
9日	第2回3J C正副理事長会議 於：ホテルセントイン倉敷	9名出席
17日	叩にゃ負けんど！児島の夜空に元気玉 於：児島観光港	13名参加
19日	10月理事会 於：瀬戸商工ビル5F	14名出席

21日	第69回ブロック会員懇親野球大会第2回監督・キャプテン会議 (WEB会議)	1名出席
22日	岡山JC創立70周年記念式典 於：岡山市民会館	3名出席
24日	3JC懇親サッカー大会 於：高梁川河川敷	
24日 ～11月2日	世界会議横浜大会(WEEK1) (オンライン)	5名出席
26日	2021年度第1回ブロック会員会議所予定者会議 於：岡山プラザホテル	2名出席
11月2日	11月例会 於：瀬戸商工ビル9F	21名出席
3日 ～7日	世界会議横浜大会(WEEK2) (オンライン・横浜実地)	6名出席
9日	11月新旧合同スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議
18日	11月新旧合同理事会 於：瀬戸商工ビル9F	18名出席
20日	異業種交流会 於：OK	一般参加者4名・メンバー4名参加
21日	3JC合同事業 真備地区復興支援清掃活動 於：真備町	8名参加
23日	理事長杯取りきりじゃがいも大会 於：鷺羽ゴルフ倶楽部	OB14名・現役9名参加
12月2日	12月例会・臨時総会・卒業式 於：瀬戸商工ビル9F	本年度役員解任 次年度役員選任 卒業生スピーチ 各種表彰 23名出席
5日	2020年度第3回地区会員会議所会議 (WEB会議)	2名出席
	2021年度第1回地区会員会議所予定者会議 (WEB会議)	3名出席
8日	12月新旧合同スタッフ会議 於：瀬戸商工ビル5F	理事会上程議案協議
10日	2021年度第2回ブロック会員会議所予定者会議 (WEB会議)	2名出席
13日	ブロック本次年度合同引継式 於：岡山コンベンションセンター	5名出席

